

北海道立北方民族博物館第20回特別展

# アイヌと

# 北の植物民族学

Plant Use among the Ainu and Northern Peoples

くたべる・のむ・うむく

2005・7・16(土)〜10・10(月)・10(祝)

観覧料 一般 450(360)円  
高・大生 150(120)円  
小・中生 70(40)円

( )内は10人以上の場合  
常設展とのセット割引もあります

開館時間 7・8月 9:00~17:00  
9・10月 9:30~16:30  
休館日 7・8月 無休  
9・10月 9/5,12,20,26,10/3

協力：財アイヌ文化振興・研究推進機構、北海道開拓記念館、帯広百年記念館、斜里町立知床博物館、財アイヌ民族博物館、財北海道埋蔵文化財センター、静内町アイヌ民俗資料館、  
俵さつぼろ自然調査館、知里眞希氏、日川清氏、遠山サキ氏、堀悦子氏、床明氏、床みどり氏、山岸喬氏、岡田淳子氏、村本美幸氏、呉人恵氏、水島未記氏

本らしをご持参の方は、  
割引料金にて特別展をご覧  
いただけます。

1枚で何名様でも有効です。



北海道立北方民族博物館  
Hokkaido Museum of Northern Peoples

〒093-0042 網走市字潮見309-1  
(天都山・道立オホーツク公園内)  
TEL 0152-45-3888 / FAX 0152-45-3889  
<http://hoppohm.org>  
e-mail: [tonakai@hoppohm.org](mailto:tonakai@hoppohm.org)



狩猟・漁労・牧畜——と、動物から日々の糧を得てきた北方の諸民族。しかし、植物もまた食糧をはじめ、薬、編織物、染料、儀礼具など生活に欠かせないものとして利用されてきました。

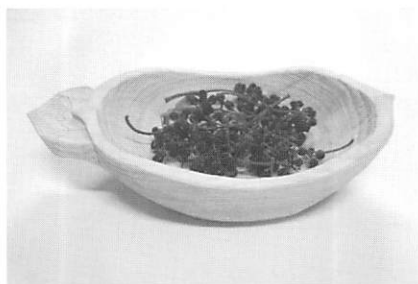
本展では、北海道のアイヌを中心にロシア、アラスカ、カナダなどの先住民の生活用具と乾燥食材などを展示し、植物の重要性を示します。また、主に植物の採集・加工を担い、現代までその知識と技術を受け継いできた女性の仕事についても紹介します。

## たべる

デンプンを含むユリ根は、食生活の柱ともなっていました。また、香辛料・ハーブとして利用されるものや、多種の食材と食器、採集・加工具を紹介します。



掘り棒（イヌイト／アラスカ）



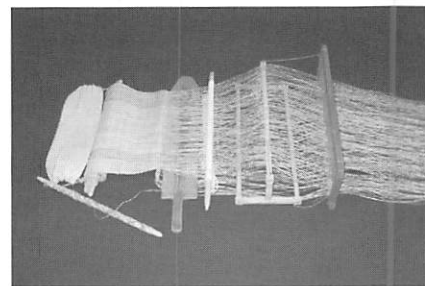
食器・キハダの実（アイヌ／北海道）

## のむ

薬として、茶として飲まれ、健康を支えた多種の草木。なかには医学的に薬効の認められるものもあり、また、信仰とかかわるものも少なくありません。

## うむ(續む)

樹皮や草などの植物性繊維で織物をつくる技術の北限は、アイヌ文化でした。また、北太平洋沿岸はバスケット細工の発達した地域でもありました。

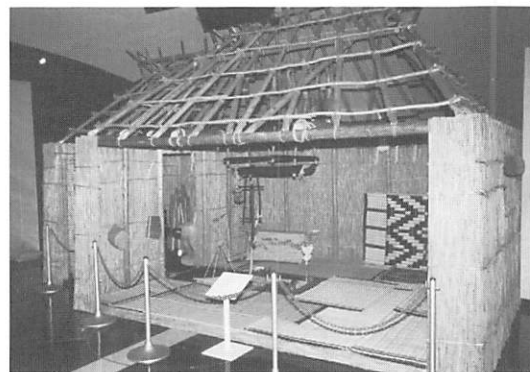


オヒョウ樹皮製の布・アットゥシ織（アイヌ／北海道）

## チセ — 植物に囲まれたくらし —

チセは、柱や屋根を木で組み、ヨシやススキ、ササなどで葺いたアイヌの住居です。屋内の床や壁には、ござが敷き詰められ、まさに植物に囲まれたくらしでした。本展では、実物大のチセを復元展示します。

写真提供：(財) アイヌ文化振興・研究推進機構  
『海を渡ったアイヌの工芸 英国人医師マンローのコレクションから』展  
神奈川県立歴史博物館会場 2002年



## 期間中の行事

○講演会「草木のいのちを食す」 7/30（土）13：30～16：30

講師 ● 小山修三氏（吹田市立博物館館長・国立民族学博物館名誉教授）  
「野生食を訪ねて ～三内丸山から北海道、そしてカナダの森へ～」

● 山岸喬氏（北見工業大学教授）

「アイヌの植物利用 ～近隣民族との類似点」 ＊道民カレッジ連携講座3単位

○解説会 7/16（土）14：00～14：30／15：30～16：00

講師：齋藤玲子（当館主任学芸員） ＊特別展観覧料が必要です。

○親子講習会「ウバユリからでんぶんを探ろう」 7/23（土）13：30～16：30

講師：内田祐一氏（帯広百年記念館学芸員） 定員40名

○講習会「草木染め体験」 8/20（土）13：00～16：00

講師：齋藤玲子（当館主任学芸員） 定員20名 ＊道民カレッジ連携講座3単位

○「アットゥシ織り実演とキナ織り体験」

9/18（日）10：00～12：00 アットゥシ織り実演と糸より（カエカ）体験  
13：30～16：30 キナ織り体験 定員12名・1ヶ月前から受付開始

講師：遠山サキ氏・堀悦子氏（浦河町：アイヌ文化伝承者）

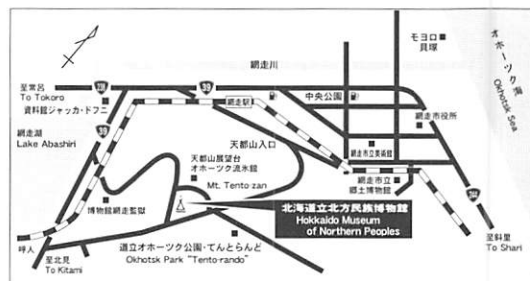
＊（財）アイヌ文化振興・研究推進機構「アイヌ文化活動アドバイザー派遣事業」による助成を受けています。

○講習会「山の幸をつかったアイヌ料理」 10/1（土）11：00～13：30

講師 床明氏・床みどり氏（阿寒町：民芸品・喫茶店経営／アイヌ文化伝承者）

定員20名 ＊道民カレッジ連携講座2単位

保険料・持ち物等の必要な行事があります。お申し込み時にお問い合わせください。



**北海道立北方民族博物館**  
Hokkaido Museum of Northern Peoples

＜お申し込み・お問い合わせ先＞

〒093-0042 網走市字潮見309-1

（天都山・道立オホーツク公園内）

TEL 0152-45-3888 / FAX 0152-45-3889

http://hoppohm.org

e-mail: tonakai@hoppohm.org

表の写真：右上から時計回りに かご細工（イヌイト／アラスカ）、小物入れ・蓋（コリヤーク／ロシア）、平ざる（ナーナイ／ロシア）、手甲（アイヌ／北海道）、盆（アイヌ／北海道）、かご容器・蓋（トリンギット／アラスカ）、樹皮製容器・蓋（ナーナイ／ロシア）、同（ナーナイ／ロシア）

写真下は、左からニリンソウとオオウバユリほか、ヤナギラン、キバナノアマナ